

一貫教育校の広場

普通部125年演説会

●普通部 教諭 正岡知晃 まさおかしほあき

普通部は2023年に、中学校の課程となって125年を迎えました。125年に際して、普通部では6月に記念式典が挙行され、11月の目路はるか教室では福澤先生ゆかりの地である中津などを探訪する特別なコースが開設され、生徒たちは多くの学びを得たことと思います。このような行事が開催される中、3年生が卒業を控えた2024年3月11日に普通部125年演説会を実施しました。

原稿を寄稿してくれました。これらの作品を我々と生徒で吟味し、各クラス4名の代表を選出。計24名が登壇することとなりました。3月11日の演説会当日、晴天に恵まれた三田キャンパスに3年生が集まり、友人たちの演説に耳を傾けました。どの演説も心を動かされる素晴らしいものばかりでしたが、いくつか印象に残ったものを紹介したいと思います。普通部生活で得た教訓は、友人から

ですが、三田キャンパスに演説館という建物が残っています。この演説館は重要な文化財に指定されており、150年の歴史を持つ慶應義塾最古の建築物です。元々、speechという単語を「演説」という言葉に翻訳したのは福澤先生です。福澤先生は、明治7年に「三田演説会」を組織し、翌年に「三田演説館」を開設し、門下生と共に演説と討論の方法・研究を始めました。その舞台となった演説館で、普通部生にもその理念の一端に触れるとともに、自身の意見や考えを同級生の前で述べてもらいたいという思いから、125年の節目に実施することを決めました。題目は「我が友へ」、「その先へ」、「今学ぶ理由」、「一身の独立」、「我ら皆志あり」の5つから選んでもらい、生徒一人一人が3年間の学びを振り返りながら素晴らしい



助になりたいという気持ちを新たにしました。

ました。「仲間意識が仲間外れを作り出す」という意識を持つことができれば、社中と協力し、高め合いつつ、日本を変える先導者としての役割を果たせるであろうという主張を、強い言葉で述べてくれました。

生徒同士のみならず、我々も多くの学びを得た普通部125年演説会となりました。まさに半学半教とはこういうことだと気づかせてもらえ、社会の先導者を育成する一助になりました。

子園での応援を例に語ってくれ

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)